Topic of town まちの話題

牡鹿 えにしマルシェ　金華山巳歳御縁年大祭の記念イベント

今年は、12年に一度の金華山黄金山神社「巳歳御縁年大祭」の年に当たります。ホエールタウンおしかでは、記念イベントを10月末まで、複数回開催します。第1回のイベントは3月8日から10日までの3日間開催され、鯨肉の販売、貝殻や石を材料としたネイチャークラフトのワークショップの他、数多くの露店が軒を連ねにぎわいを見せました。「えにしマルシェ」では、イベント限定のおみくじ「おみくじら」での運試しや、お守り風キーホルダー「くじら守り」も購入できます。ぜひ足を運んでみてください。

※巳歳御縁年大祭の祭事日程は「金華山黄金山神社」のホームページ、「えにしマルシェ」のイベント日程は、おしかホエールタウンのホームページから確認ください。

石巻 悲惨な事故防止に一丸

春の交通安全運動へ出動

「春の交通安全県民総ぐるみ運動」が4月6～15日に行われ、市や市民、警察が一丸となって子どもと高齢者の事故防止を中心とした道路の安全利用を呼びかけました。運動前の4月4日にイオンモール石巻であった出動式では、近くの乳幼児保育園ミルクの年長児16人が「右を見て左を見て安全に渡ります」と決意表明しました。その後、関係団体の約200人が地域の見守りに出発するパトカーを拍手で送り出しました。

河北 災害時に役立つパッククッキング

女性防火クラブが研修会を開催

3月2日、令和6年度河北女性防火クラブ研修会が河北総合センターで行われました。河北総合支所市民福祉課の栄養士を講師に、災害時にガス・電気・水道などのライフラインが使えなくなっても、カセットコンロ、鍋、水、ポリ袋、食材があれば温かい食事を作ることができるパッククッキングを実践しました。できあがったカレーを食べたクラブ員からは、「とてもおいしく、勉強になった」との感想が聞かれました。

桃生 3校統合で友だち3倍

新生「桃生小学校」開校式

桃生地区3小学校を統合した新生「桃生小学校」の開校式が4月8日、同校で開かれました。2～6年生183人が出席し、宍戸健悦教育長から校旗を受け取った小林義則校長は「一人一人がこの学校に来てよかったと思える温かい学校にしたい」と述べました。児童代表あいさつで中津山第二小学校出身の6年生、佐藤舞紗さんは「3つの学校が一つになり、友だちの数も3倍になる。皆で楽しい学校にしていきましょう」と呼びかけていました。

河南 大正琴を聞いて触って

鹿又小で住民が披露

鹿又小学校で3月13日、地域住民による大正琴の演奏会が開かれました。同校コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）主催で、5・6年生105人が校歌や「上を向いて歩こう」、「ふるさと」など計6曲の演奏に耳を傾けました。試し弾きのコーナーもあり、児童たちは、聞いて、触って、大正琴の魅力を味わいました。別の日には1・2年生、3・4年生を対象にした演奏会も開催されました。

北上 復興や福祉の視点まとめる

北上小で防災マップ発表会

市教育委員会などが主催する「復興・防災マップコンクール」で北上小学校4年生の全13人が作成した防災マップ「みんなの幸せを守るマップ～みんなとつながる命とつながる～」が最高賞の石巻市長賞に選ばれました。3月5日には父兄や協力者を招いた発表会が行われました。マップには、北上地区全域の地図に浸水想定エリアや砂防堰堤の位置などが示されています。また、福祉の視点や東日本大震災後の被災した地区の防潮堤再建を巡る議論などにも触れ復興の経緯などをまとめた防災マップに仕上がり、発表会に参加した父兄やマップ作成時に協力いただいた方々より称賛の拍手が送られました。

雄勝 道の駅に“寄るすぺ”

夜に交流の場作り

住民の夜の交流スペース「よるすぺ」が3月14日、道の駅硯上の里おがつで開かれました。約60人が集まり、ゲームや談笑したり、まちづくりに関する意見交換をしたりと、思い思いの時間を過ごしました。まちづくり協議会の「おがつ100年会議」が、住民が気軽に寄って話せる場として初めて企画しました。道の駅の休憩スペースに無料の菓子と飲み物が用意され、にぎやかな声と明かりに包まれました。